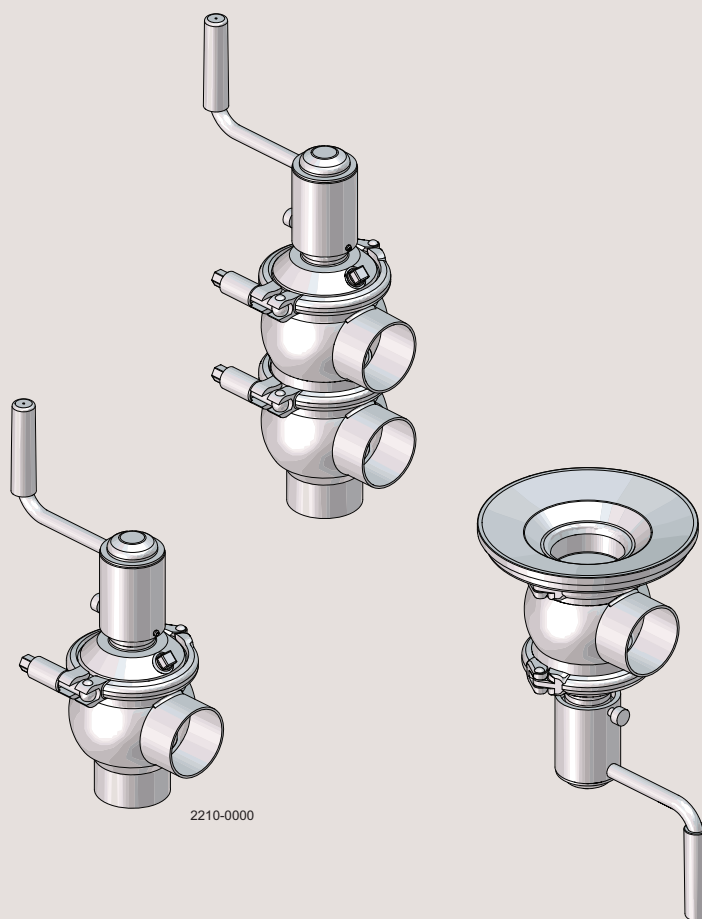




取扱説明書

ユニークシングルシートバルブ 無菌 - 手動



ESE02414-JA2 2016-03

オリジナルの使用説明書の翻訳

www.alfalaval.jpへアクセスしてください。

1. CE適合宣言書	4
2. 安全	5
2.1. 重要事項	5
2.2. 警告を表すマーク	5
2.3. 安全に関する注意事項	6
3. 据付け	7
3.1. 開梱/搬送	7
3.2. 通常の据付け	9
3.3. 溶接	11
4. 動作概要	13
4.1. 動作概要	13
4.2. トラブルシューティング	14
4.3. 推奨する洗浄方法	15
5. メンテナンス	17
5.1. 通常のメンテナンス	17
5.2. バルブの分解	19
5.3. プラグシールの交換	20
5.4. バルブアセンブリ	21
5.5. 手動アクチュエータブッシングおよびリップシール交換	22
6. テクニカルデータ	23
6.1. テクニカルデータ	23
7. 部品リストとサービスキット	24
7.1. 滅菌調節 - 断面図	24
7.2. 滅菌調節	26
7.3. 手動殺菌 - 遮断 - 断面図	28
7.4. 手動殺菌 - 遮断	30
7.5. 手動殺菌 - 切り替え - 断面図	32
7.6. 手動殺菌 - 切り替え	34
7.7. 手動殺菌タンク出口 - 断面図	36
7.8. 手動殺菌タンク出口	38
7.9. 付属品ツール	40

1 CE適合宣言書

指定会社

アルファ・ラバル Laval

会社名

Albuen 31, DK-6000 Kolding, Denmark

住所

+45 79 32 22 00

電話番号

以下の事柄をここに宣言します。

ユニーク シングル シート バルブ、無菌 - 手動式

名称

バルブ

タイプ

25-03-2013

年式

が、以下の指令に準拠していることを、ここに宣言いたします。

- 機械類の指令 2006/42/EC

- 圧力装置指令 2014/68/EU カテゴリ1 および対象評価手順モジュール A

グローバル製品の品質 マネージャー
ポンプ、バルブ、継手、タンク設備

役職

Lars Kruse Andersen

名称

コリング
場所



署名

名称



本文中では、危険な行為などの重要な情報を、特に強調して記してあります。
警告内容は、特別なマークで強調しています。

2.1 重要事項

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

警告(人)

人体への被害を防ぐために、遵守すべき事柄を表しています。

警告(物)

バルブの損傷を防ぐために従うべき事柄を表しています。

注意!

手順を簡素化あるいは明瞭化するための重要な情報を表しています。

2.2 警告を表すマーク

一般的な警告:



腐食への警告:



2 安全

このページには、本文中で使われている全ての警告を表すマークをまとめてあります。
人体への深刻な被害、あるいはバルブの損傷を防ぐために、警告事項には特に注意してください。

2.3 安全に関する注意事項

据付け:

必ず、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。
熱い流体を流している最中や殺菌中には、バルブや配管には**決して**手を触れないでください。
バルブを取外す時は、配管/バルブ共に加圧されていないことを**必ず**確認して下さい。
バルブが熱くなっているときには、**絶対**に取外さないでください。



操作:

バルブを取外す時は、配管/バルブ共に加圧されていないことを**必ず**確認して下さい。
バルブが熱くなっているときには、**絶対**に取外さないでください。
必ず、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。
洗浄後はきれいな水で**必ず**よく水洗いして下さい。



酸やアルカリの取扱いには十分な注意を怠らないようにして下さい。



メンテナンス:

必ず、技術資料に目を通してください(第 6 テクニカルデータ 章参照)。
バルブが熱くなっているときには、**絶対**に作業を行わないでください。
バルブおよび配管が加圧されている場合は、**絶対**に作業を行わないでください。



輸送:

圧縮エアが放出されていることを**必ず**確認して下さい。
バルブを取り外す前に、**必ず**全ての接続が切断されていることを確認して下さい。
輸送前には、**必ず**液体をバルブの外に排出して下さい。
定義されている場合は**必ず**、事前指定された吊り下げポイントを使用して下さい。
輸送時には**必ず**、バルブが適切に固定されていることを確認し、専用パッケージ材が利用可能な場合は**必ず**使用して下さい。

ミキサーには取扱説明書が付属しています。本文をよくお読みください。
図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。
指定無き場合、溶接エンドのバルブは分割されています。
継手付きの場合、組み立てて納入されます。

3.1 開梱/搬送

ステップ 1

警告 (物)

アルファ・ラバルでは、不適切な開梱による不具合には責任を負いかねます。

内容を確認して下さい:

1. バルブ一式、ストップバルブまたは切り替えバルブ。
 2. パッキングリスト
-

3 据付け

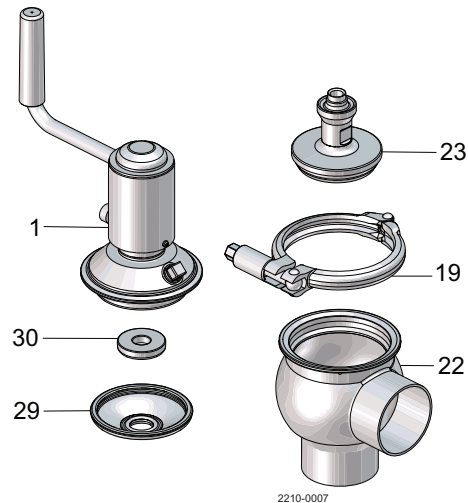
ミキサーには取扱説明書が付属しています。本文をよくお読みください。
図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。
指定無き場合、溶接エンドのバルブは分割されています。
継手付きの場合、組み立てて納入されます。

ステップ 2

2a

ストップバルブ:

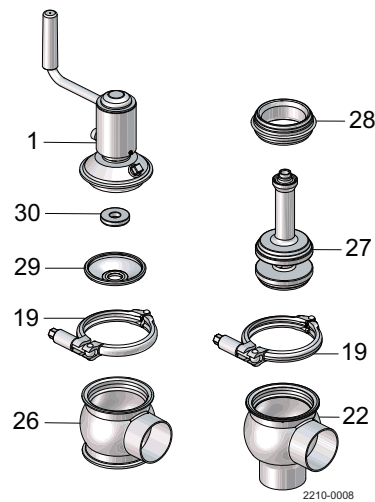
1. ハンドルー式
2. クランプ (19)
3. バルブ プラグ (23)
4. バルブ ボディ (22)
5. ダイアフラム (29)
6. ディスク (30)



2b

切り替えバルブ

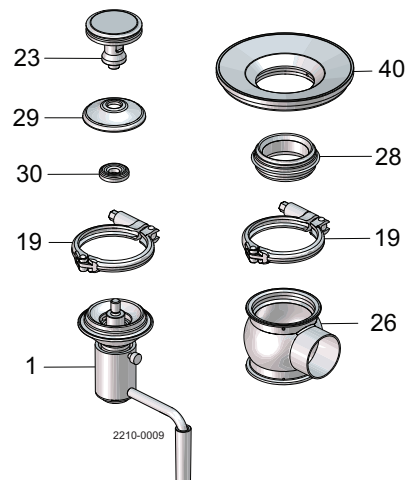
1. アクチュエーター式
2. 2 x クランプ (19)
3. バルブ プラグ (27)
4. 下部バルブ・ボディ (22)
5. バルブ・シート (28)
6. 上部バルブ・ボディ (26)
7. ダイアフラム (29)
8. ディスク (30)



2c

タンク出口バルブ

1. アクチュエーター式
2. 2 x クランプ (19)
3. バルブ プラグ (23)
4. タンク・フランジ (40)
5. バルブ・シート (28)
6. バルブ ボディ (26)
7. ダイアフラム (29)
8. ディスク (30)



ステップ 3

バルブやバルブ部品から梱包材を取り除いてください。
バルブやバルブパーツに輸送による損傷がないかどうか確認して下さい。
バルブや部品の損傷を防いでください。

ミキサーには取扱説明書が付属しています。本文をよくお読みください。
 図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。
 指定無き場合、溶接エンドのバルブは分割されています。
 継手付きの場合、組み立てて納入されます。

3.2 通常の据付け

ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。
 章 6 テクニカルデータを参照してください。

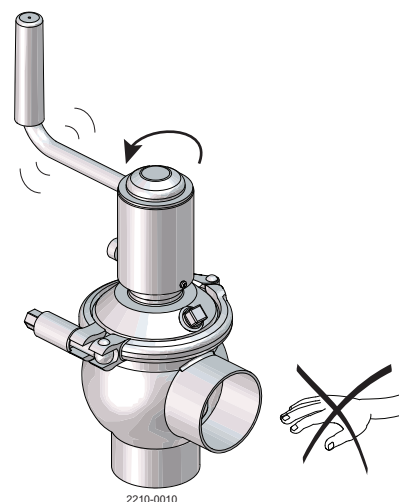
警告 (物)

アルファ・ラバルでは、不適切な据付けによる不具合には責任を負いかねます。

ステップ 2



動作中は決してバルブ・ボディに指を入れしないでください。



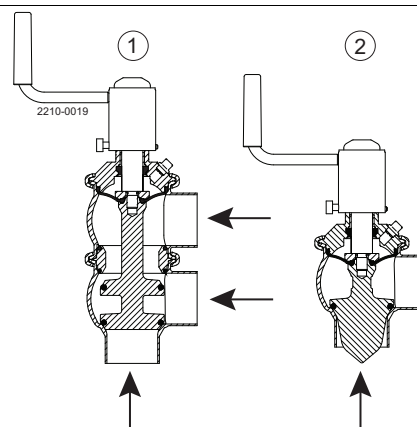
2210-0010

可動部

ステップ 3

手動式バルブ (1) は、両方の流れの端に設置でき、「ウォーターハンマー」問題は発生しません。

手動調整バルブ (2) は図のように入口流れで設置しなければなりません。



2210-0019

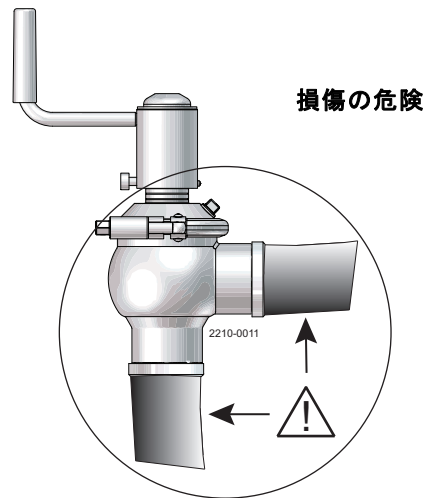
3 据付け

ミキサーには取扱説明書が付属しています。本文をよくお読みください。
図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。
指定無き場合、溶接エンドのバルブは分割されています。
継手付きの場合、組み立てて納入されます。

ステップ 4

バルブに外力を加えないで下さい。
次のことに注意してください。

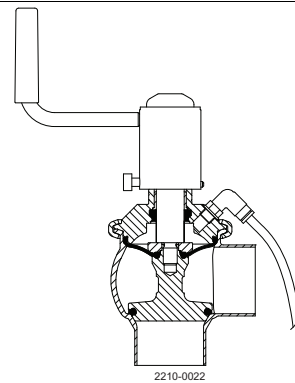
- 振動
- 配管の熱膨張
- 過度の溶接
- 配管の過負荷



ステップ 5



必ずダイヤフラムが固く締まっていることを確認してください。蒸気/CIPが漏れだすと危険です。
安全のため、6 mm のホース 1 本と継手を図のように取り付けることができます。ホースはドレンに到達するようにしてください。



本文をよくお読みください。

バルブは納入時分割されています (溶接のため)。

図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。

溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

3.3 溶接

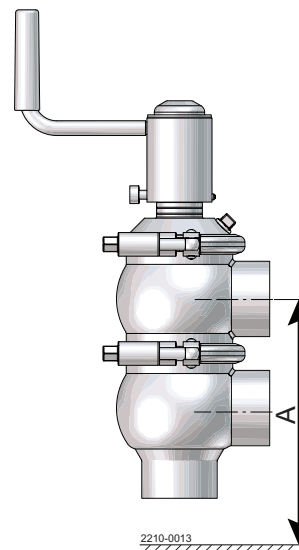
ステップ 1

1a:

バルブボディ間に取付けられているシールの交換を考慮し、バルブには**必ず**バルブボディを2つ以上設置してください。システムに複数のバルブボディを溶接しないでください。

測定値 A はボディの組み合わせと配管ソリューションによって異なります。

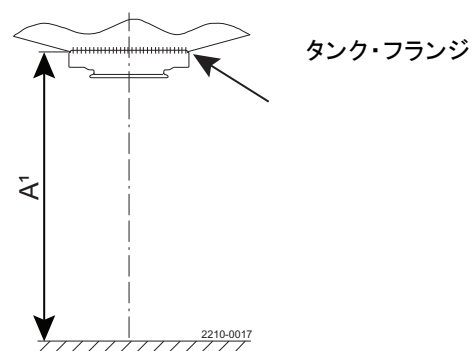
詳細については実際の PD シートを参照してください。



1b: (手動タンク出口バルブのみ)

フランジをタンクに溶接する前に、以下に注意してください:

1. アクチュエータと内部バルブ部品の交換を考慮して、最小限の隙間「A」を維持してください。本セクションで口述する詳細を参照してください。



最小直径

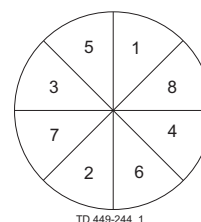
サイズ	DN/OD				DN			
	51	63.5	76.1	101.6	50	65	80	100
A ¹	340	380	390	440	340	385	400	440

A¹ = タンクフランジ/バルブボディからバルブを持ち上げるために必要な最小据付寸法

2. パルスアーク溶接のみを使用し、フランジとタンクプレート間に隙間が内容にしてください。

必ず反対側でタック溶接を行ってください (溶加材を使用して 8 セグメント)。屋根の溶接にはできるだけ溶加材を使用しないでください。

亀裂を防ぐため、溶接の最終実行は必ず 8 セグメントで実行してください。



3 据付け

本文をよくお読みください。

バルブは納入時分割されています (溶接のため)。

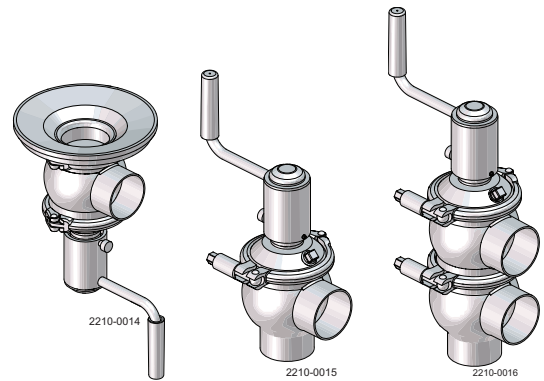
図中の符号はパーツリストおよびサービスキットの章の符号と対応しています。

溶接後にはバルブが円滑に動作することを確認してください。

ステップ 2

5.4 バルブアセンブリ項の手順に従ってバルブを組み立てます。

警告(人)には特に注意してください。



本文をよく読み、警告には特に注意してください。
バルブが円滑に動作することを確認してください。
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。

4.1 動作概要

ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。
章 6 テクニカルデータを参照してください。

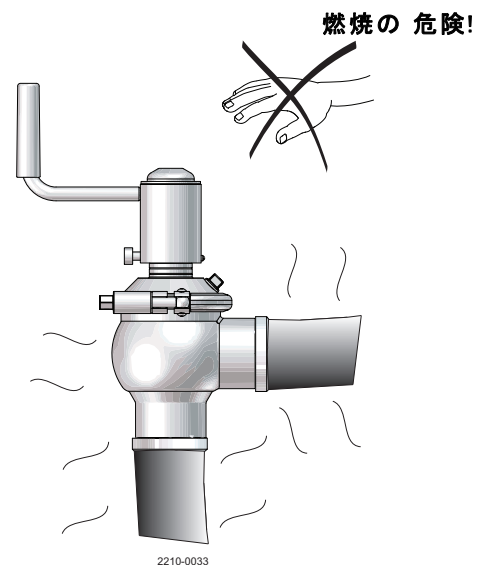
警告 (物)

アルファ・ラバルでは、不適切な操作による不具合には責任を負いかねます。

ステップ 2



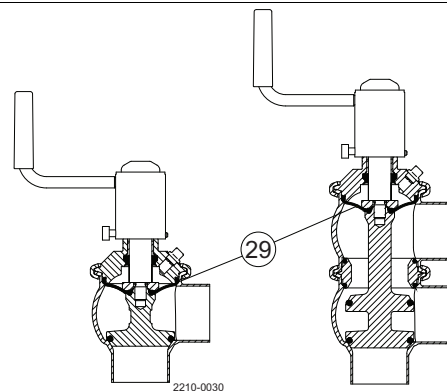
熱い流体を流している最中や殺菌中には、バルブや配管には決して手を触れないでください。



ステップ 3

警告:

分解後、ダイヤフラムは再使用しないでください (位置 29) (損傷または摩耗の危険)。



ステップ 4

アクチュエータの潤滑化

1. 必要に応じて、「真鍮ステム延長部」(位置 16) に潤滑油 Molykote Longterm 2 Plus を塗布します。
2. クランク機構がスムーズに作動していることを確認します。必要に応じて Molykote TP42 でアクチュエータネジに潤滑油を塗布します (クランクは出荷前に潤滑化されます)。

4 動作概要

故障の可能性に留意してください。本文をよくお読みください。
符号は部品リストおよびサービスキットの章をご参照ください。

4.2 トラブルシューティング

注！

摩耗により部品を交換する前に、メンテナンス方法を熟読してください。セクション 5.3 プラグシールの交換 を参照してください。

不具合	原因/結果	修理箇所
外部への液漏れ	ダイアフラムおよび/あるいは Oリングの摩耗または損傷	- ダイアフラムを交換してください - シール材質を異なる等級のゴムに交換する
内部での液漏れ	- プラグシールの摩耗または損傷 - シート、プラグへの付着物	- シールを交換 - シール材質を異なる等級のゴムに交換してください - 定期洗浄
バブルが開閉しない	通液圧力がアクチュエータの仕様を超えている	製品を減圧する 必要に応じてアクチュエータ ネジを Molykote-TP42 で潤滑化してください。

このバルブは、CIP(定置洗浄)対応に設計されています。
本文をよく読み、警告には特に注意してください。
NaOH = 苛性ソーダ
HNO₃ = 硝酸

4.3 推奨する洗浄方法

ステップ 1



酸やアルカリの取扱いには、必ず十分注意を払ってください。

腐食の危険!



必ず
ゴム手袋を使用し
てください。



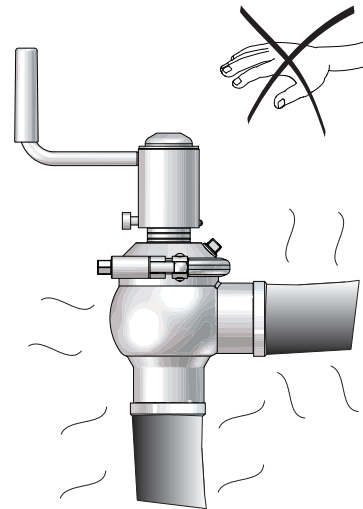
必ず
防護眼鏡を着用し
てください

ステップ 2



殺菌中にバルブや配管に絶対に手を触れないでください。

燃焼の危険!



2210-0033

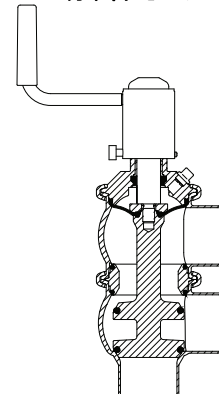
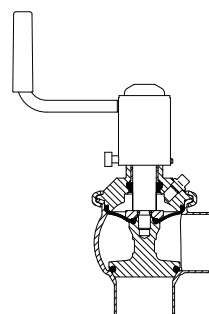
ステップ 3

プラグおよびシートを確実に洗浄してください。
警告(人)には特に注意してください。

バルブプラグを数回アクティブ化します。

遮断バルブ

切り替えバルブ



2210-0029

4 動作概要

このバルブは、CIP(定置洗浄)対応に設計されています。
本文をよく読み、警告には特に注意してください。
NaOH = 苛性ソーダ
HNO₃ = 硝酸

ステップ 4

洗浄液の例:

塩素を含まないきれいな水をお使いください。

1. 1% の NaOH、70° C

1 kg NaOH + 100 l 淡水 = 洗浄剤

2.2 l
33% NaOH + 100 l 淡水 = 洗浄剤

2. 0.5% の HNO₃、70° C

0.7 l
53% HNO₃ + 100 l 淡水 = 洗浄剤

ステップ 5

1. 洗浄液の濃度を調整します。
2. 洗浄流量を調節します。
3. 洗浄後は必ずよく水洗いしてください。



ステップ 6

注意!

洗浄剤は、現行の規制や指示に従って保存・廃棄してください。

メンテナンスは定期的に行なってください。
 本文をよく読み、警告には特に注意してください。
 ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

5.1 通常のメンテナンス

ステップ 1



テクニカルデータを必ずよく読んでください。
 章 6 テクニカルデータを参照してください。

注意!

廃棄物は、必ず現行の条例等に従って保管・廃棄してください。

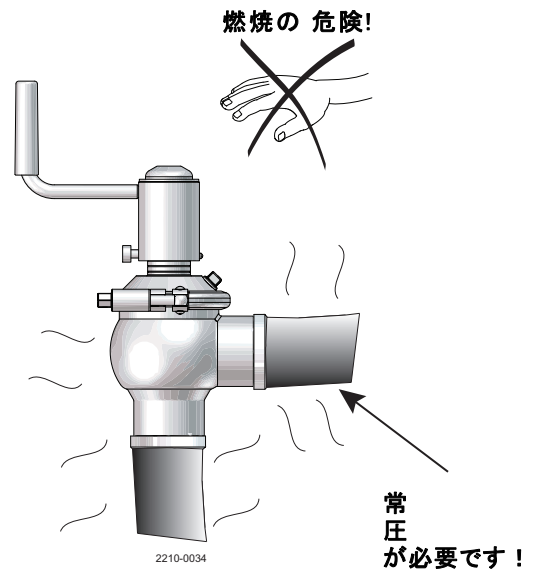
ステップ 2



バルブが熱くなっているときには、絶対に作業を行わないでください。



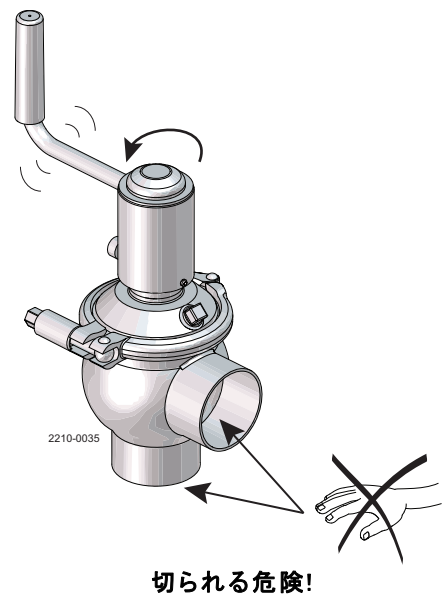
バルブおよび配管が加圧されている場合は、絶対に作業を行わないでください。



ステップ 3



バルブポートには決して指を入れないでください。



5 メンテナンス

メンテナンスは定期的に行なってください。
本文をよく読み、警告には特に注意してください。
ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

ステップ 4

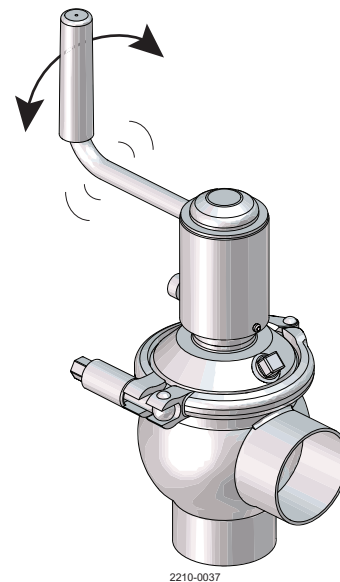
下表は保守および潤滑間隔の目安を示しています。この目安は 1 シフトにおける通常の動作条件に対するものです。

接液シール	
予防メンテナンス	動作条件に応じて12ヶ月で交換
液漏れ後のメンテナンス(通常漏れは徐々に始まります)	一日の終わりに繰り返す
計画的メンテナンス	<ul style="list-style-type: none">- 液漏れや動作のスムーズさを定期的に検査する- バルブの記録を付ける- 統計を検査計画に使用する 液漏れ後に交換する
潤滑	据付前に Klüber Paraliq GTE 703 または同等な USDA H1承認のオイル / グリスを使用

アクチュエータネジの潤滑化には、Molykote TP-42 - を使用してください。4.1 動作概要、Step 4も参照してください。

使用前確認

バルブを数回開閉して、
スムーズに動作することを確認します。
警告に対して細心の注意を払ってください！



推奨される予備部品

サービスキット (7 部品リストとサービスキット を参照)

メンテナンスは定期的に行なってください。
 本文をよく読み、警告には特に注意してください。
 ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

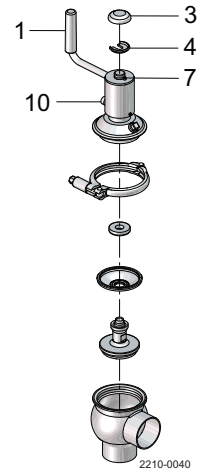
5.2 バルブの分解

ステップ 1a - 遮断バルブおよびタンク出口バルブ

必ずバルブが**減圧**されていることを確認してください。

- クランクを中央の位置へ置き、クランプを取り外します。
- クランクを下側へ回転させ、プラグがシーリングエレメントをバルブ ボディから上側へ押し上げるようにします。
- キャップ (3) を取り外してネジ (7+10) を緩め、横へスライドさせてワッシャー(4)を取り外します。
次に、シーリングエレメントからクランクを取り外します。
- アクチュエーターのスピンドルからバルブプラグを取り外します。
スピンドル内にプラスドライバーを差し込み、バルブプラグ側で 17mm スパナを使用して実行できます。
- ダイヤフラムとディスクを取り外します。

必要に応じてシーリングエレメント内のリップシールとブッシングは交換可能です(セクション 5.5 手動アクチュエータブッシングおよびリップシール交換を参照)。

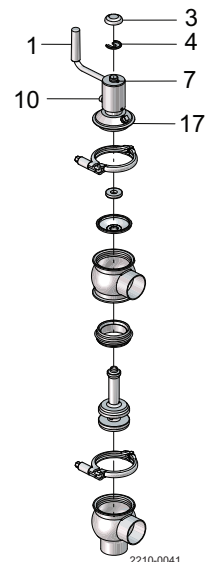


ステップ 2b - 切り替えバルブ

必ずバルブが**減圧**されていることを確認してください。

- クランクを一番上に配置し (バルブプラグが上向きとなるよう)、上側と下側のクランプを取り外します。
- アクチュエータを使用して、上側バルブボディを持ち上げます。
- キャップ (3) を取り外し、ネジ (7+10) を緩め、ワッシャー (4) を横へスライドさせて取り外します。
次に、クランク (1) をシーリングエレメント (17) から取り外します。
- アクチュエーターのスピンドルからバルブプラグを取り外します。
スピンドル内にプラスドライバーを差し込み、バルブプラグ側で 17mm スパナを使用して実行できます。
- 上側バルブボディとバルブシート (28) を取り外します。
- ダイヤフラムとディスクを取り外します。シーリングエレメントはバルブボディから取り外しにくい場合がありますが、この場合、バルブプラグ (バルブシート (28) なし) を使用してバルブボディから外します。

必要に応じてシーリングエレメント内のリップシールとブッシングは交換可能です(セクション 5.5 手動アクチュエータブッシングおよびリップシール交換を参照)。



5 メンテナンス

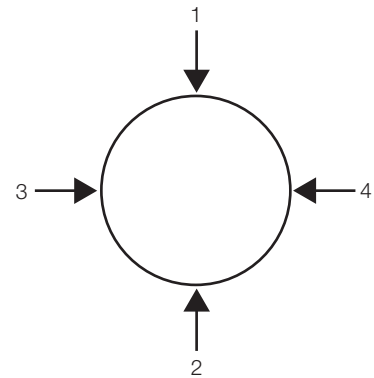
メンテナンスは定期的に行なってください。
本文をよく読み、警告には特に注意してください。
ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

5.3 プラグシールの交換

ステップ 1

1. ナイフやドライバなどを使って古いシールリングを取り外してください。
金属部分を損傷しないように注意してください。
2. プラグシールを溝に押し込むことなく仮取り付けしてください。
3. 向かい合わせ圧力点を押し、プラグシールを溝に押し込んでください。
4. プラグシールの背後から圧縮エアを抜いてください。

注意 プラグシールの交換については、7.9 付属品ツール節を参照してください。

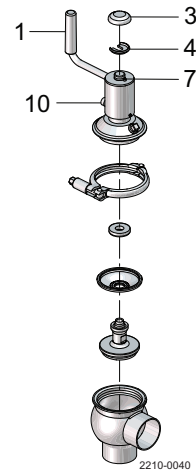


メンテナンスは定期的に行なってください。
 本文をよく読み、警告には特に注意してください。
 ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

5.4 バルブアセンブリ

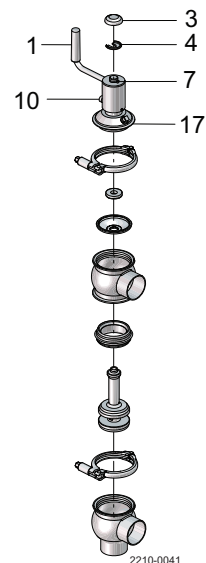
ステップ 1a - 遮断バルブおよびタンク出口バルブ

- ダイヤフラム、ディスクおよびスピンドルをシーリングエレメントに装着します。ディスクを正しく回転させるようにしてください（以下の図を参照）。ダイヤフラム上部とバルブボディに潤滑油「Paralique GT703」を塗布します。
- バルブプラグとアクチュエータスピンドルを締め付けます。(14)。トルク **33 Nm** (ISO51/DN50-ISO101/DN100) 及び **15 Nm** (ISO25/DN25-ISO38/DN38) を使用します。スピンドルにプラスドライバーを差し込み、バルブプラグに 17mm スパナを使用して行います。243 締付ける前に、必ず締め金のスレッドを潤滑してください。締め金に対する最大トルクは 10-12 Nm。
- クランク (1) をシーリングエレメントの上にネジで固定します。キャップ (3) とネジ (7+10) およびワッシャー (4) を横にスライドさせて装着します。
- アクチュエータをバルブボディに取り付けやすくなるよう、クランクを中央の位置に置きます。
- 次にアクチュエータ クランクを強く押しつけてバルブボディに装着します。この時点でまだダイヤフラムがシーリングエレメントに正しく取り付けられていることを確認します（以下の図を参照）。
- クランクの取り付け
- クランクを上下に動かし、正しく作動していることを確認します。

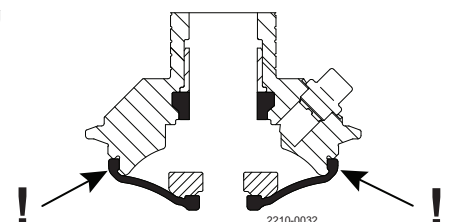


ステップ 2a - 切り替えバルブ

- ダイヤフラム、ディスクおよびスピンドルをシーリングエレメントに装着します。ディスクを正しく回転させるようにしてください（以下の図を参照）。ダイヤフラム上部とバルブボディに潤滑油「Paralique GT703」を塗布します。
- シーリングエレメントをダイヤフラム、ディスクおよびスピンドルを上側バルブボディへ押しつけます。この時点でまだダイヤフラムがシーリングエレメントに正しく取り付けられていることを確認します（以下の図を参照）。
- バルブシート (28) をプラグの上に装着します。
- バルブプラグとアクチュエータスピンドル(14)を締め付けます。トルク **33 Nm** (ISO51/DN50-ISO101/DN100) 及び **15 Nm** (ISO25/DN25-ISO38/DN38) を使用します。スピンドルにプラスドライバーを差し込み、バルブプラグに 17mm スパナを使用して行います。ロックタイト 243 の使用をお勧めします。締付ける前に、必ず締め金のスレッドを潤滑してください。締め金に対する最大トルクは 10-12 Nm。
- クランク (1) をシーリングエレメントの上にネジで固定し、中央に配置します。クランク (1) が閉位置になっている場合は、決してダイヤフラムを引き出さないでください。キャップ (3) とネジ (7+10) およびワッシャー (4) を横にスライドさせて装着します。
- 上側クランプを装着します。この際、バルブプラグは決して下方向へ回さないでください。ダイヤフラムが引っ張られ、破壊してしまう可能性があります。
- 「上側バルブボディー式とアクチュエータ」を下側バルブボディ (26) に装着します。
- 下側クランプを装着します。
- クランクを上下に動かし、正しく作動していることを確認します。



ダイヤフラム一式、ディスクおよびスピンドルをバルブボディに据え付ける前に、シーリングエレメント (17) にダイヤフラムがしっかりと固定されていることを確認してください。ディスク (30) を正しく回すようにしてください。



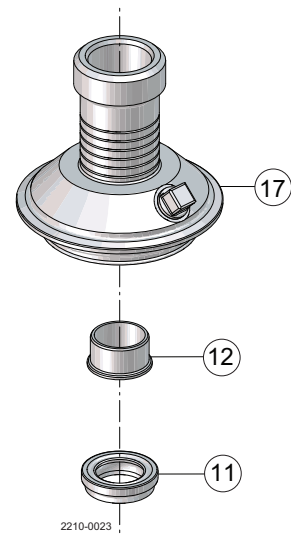
5 メンテナンス

メンテナンスは定期的に行なってください。
本文をよく読み、警告には特に注意してください。
ゴムシールおよびリップシールの予備は、常に用意しておくようにしてください。

5.5 手動アクチュエータブッシングおよびリップシール交換

ステップ 1

シーリング要素 (位置 17) はブッシング (位置 12) およびリップシール (位置 11) で、交換可能です。
アルファラバルでは、ブッシングツールを使用することを推奨します (セクション 7.9 付属品ツール を参照してください)



据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

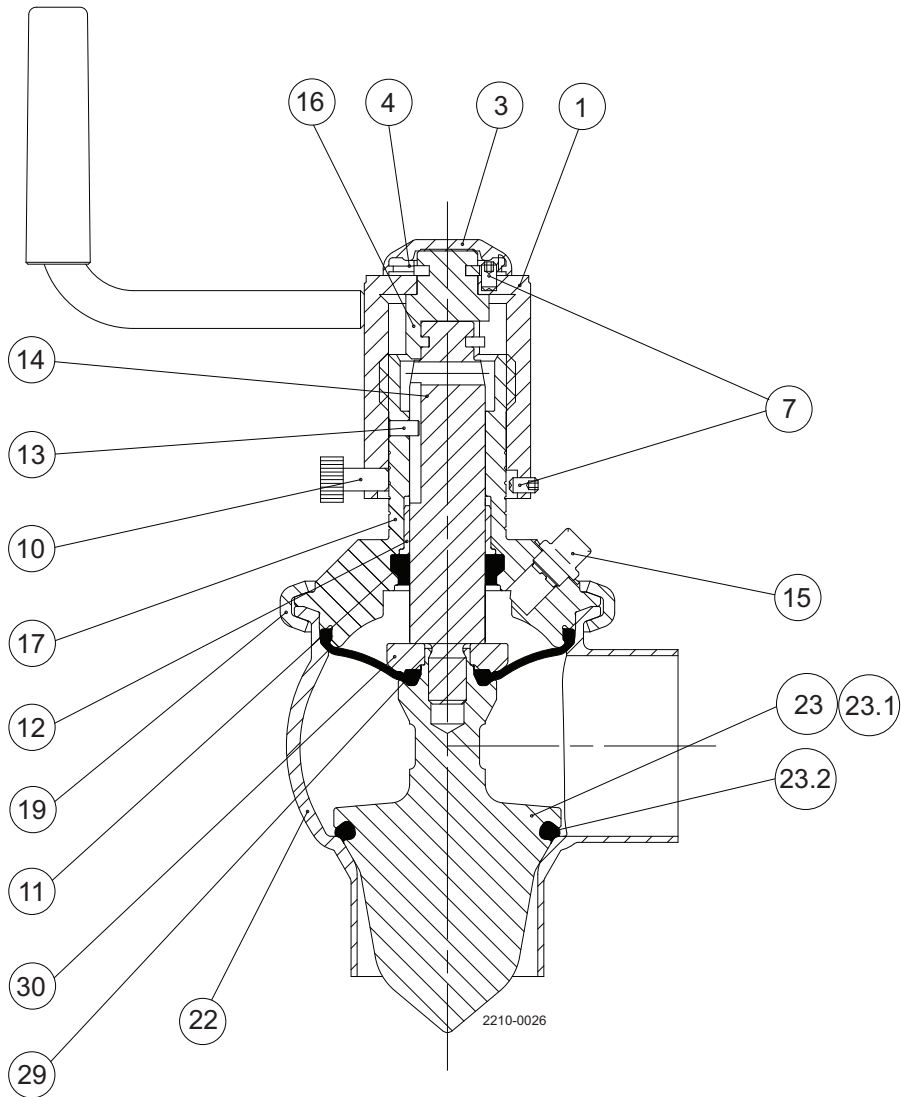
6.1 テクニカルデータ

データ - バルブ / アクチュエータ	
タンクの使用最大圧力	1000 kPa (10 bar / 20°C) 850 kPa (8.5 bar / 100°C) 750 kPa (7.5 bar / 150°C)
タンクの使用最小圧力	真空
パイプラインの使用最大圧力	800 kPa (8 bar / 140° C)
パイプラインの使用最大圧力	真空
最高滅菌温度 (蒸気 - 短時間)	150° C ~ -380 kPa (3.8 bar)
温度範囲	-10° C ~ + 140° C (標準 EPDM シール)
注意: 配管内は真空にしないでください。ダイヤフラムの耐用年数が短くなります。	
材質 - バルブ / アクチュエータ	
接液金属部品	1.4404 (316L) (内部 Ra < 0.8 μm)
他金属部品	1.4301 (304)
プラグシール	EPDM.
ダイヤフラム	EPDM/PTFE
その他の接液部シール	EPDM (標準)
接液シール (オプション)	HNBR およ and FPM

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

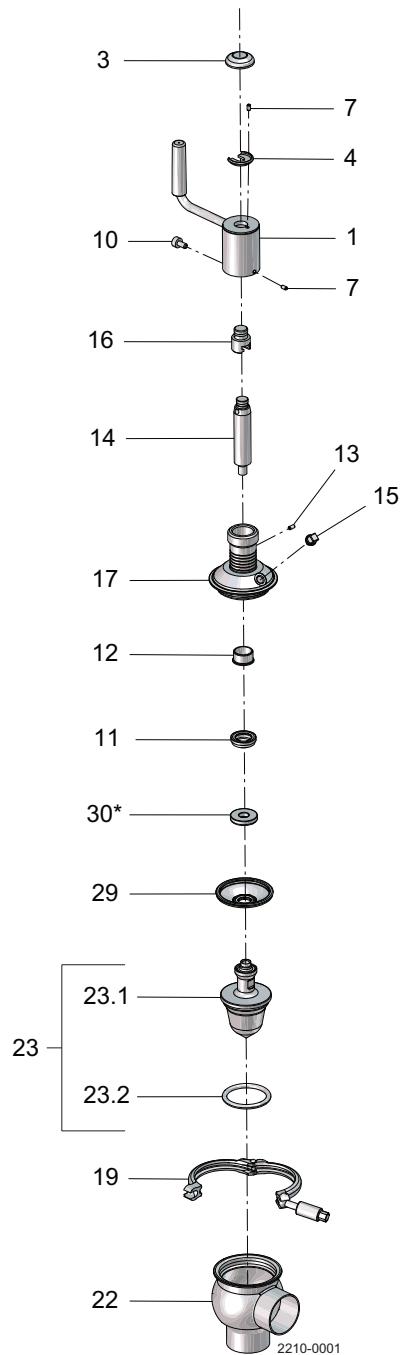
7.1 滅菌調節 - 断面図



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

7.2 滅菌調節



* = DN40/38 mmにはディスクを使用しないでください

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

パーツリスト

符号	数量	部品名称
		クランク機構一式
1	1	クランク
3	1	キャップ
4	1	ワッシャー
7	2	セットねじ
10	1	ロックリングネジ
11	1	リップ・シール
12	1	ブッシング
13	1	スプリングピン
14	1	上側スピンドル
15	1	プラグ
16	1	ステム延長
17	1	シーリングエレメント
19	1	クランプ
22	1	バルブボディ
23	1	プラグ、一式
23.1	1	プラグ
23.2 ◆	1	プラグシール
29 ◆	1	ダイヤフラム
30	1	ダイヤフラム用ディスク

サービス・キット

部品名称	DN40	DN50	DN65	DN80	DN100
	38 mm	51 mm	63.5 mm	76.1 mm	101.6 mm
◆ サービスキット、EPDM	9611926544	9611926545	9611926546	9611926547	9611926548
◆ サービスキット、HNBR	9611926550	9611926551	9611926552	9611926553	9611926554
◆ サービスキット、FPM	9611926556	9611926557	9611926558	9611926559	9611926560

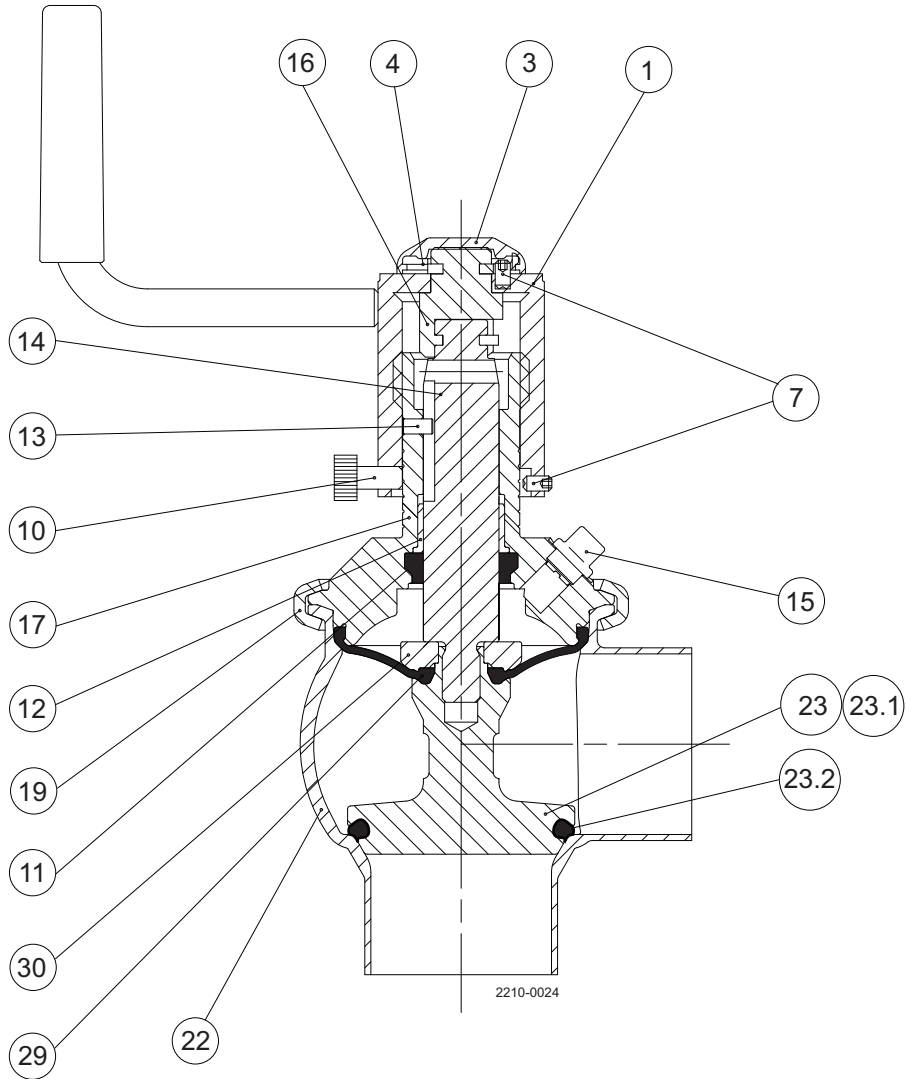
「◆」印の付いた部品はサービスキット(製品溶接部品)に含まれています。
ブッシング用ツール(位置 12) 9613160901

TD900-656

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

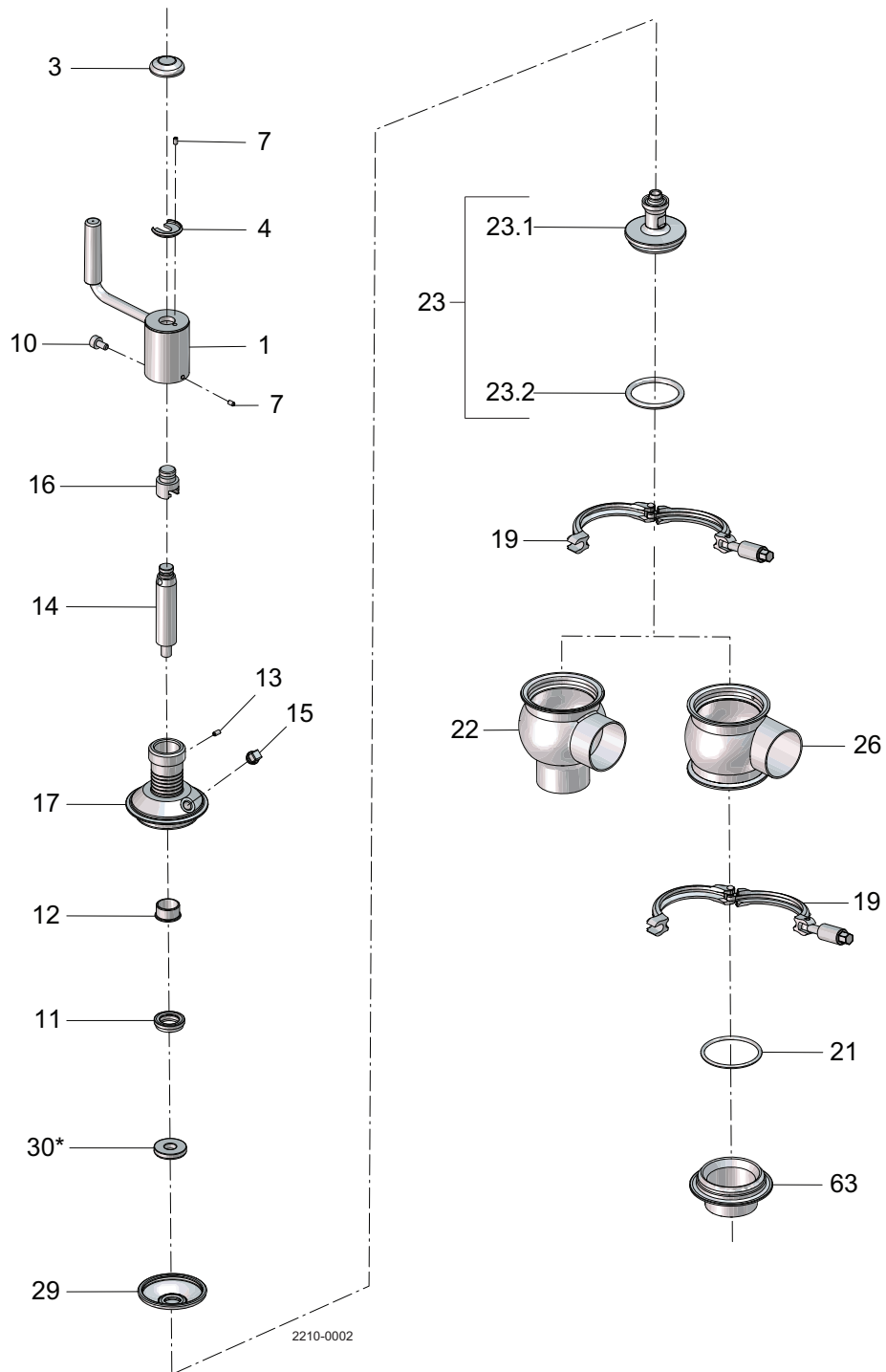
7.3 手動殺菌 - 遮断 - 断面図



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

7.4 手動殺菌 - 遮断



* = DN25/25 mm and DN40/38 mm にはディスクを使用しないでください

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

パーツリスト

符号	数量	部品名称
		クランク機構一式
1	1	クランク
3	1	キャップ
4	1	ワッシャー
7	2	セットねじ
10	1	ロックネジ
11	1	リップ・シール
12	1	ブッシング
13	1	スプリングピン
14	1	上側スピンドル
15	1	プラグ
16	1	ステム延長部
17	1	シーリングエレメント
19	1	クランプ
21 ◆	1	Oリング
22	1	バルブボディ
23	1	プラグ、一式
23.1	1	プラグ
23.2 ◆	1	プラグシール
26	1	バルブボディ
29 ◆	1	ダイヤフラム
30	1	ダイヤフラム用ディスク
63	1	ポートシールエレメント

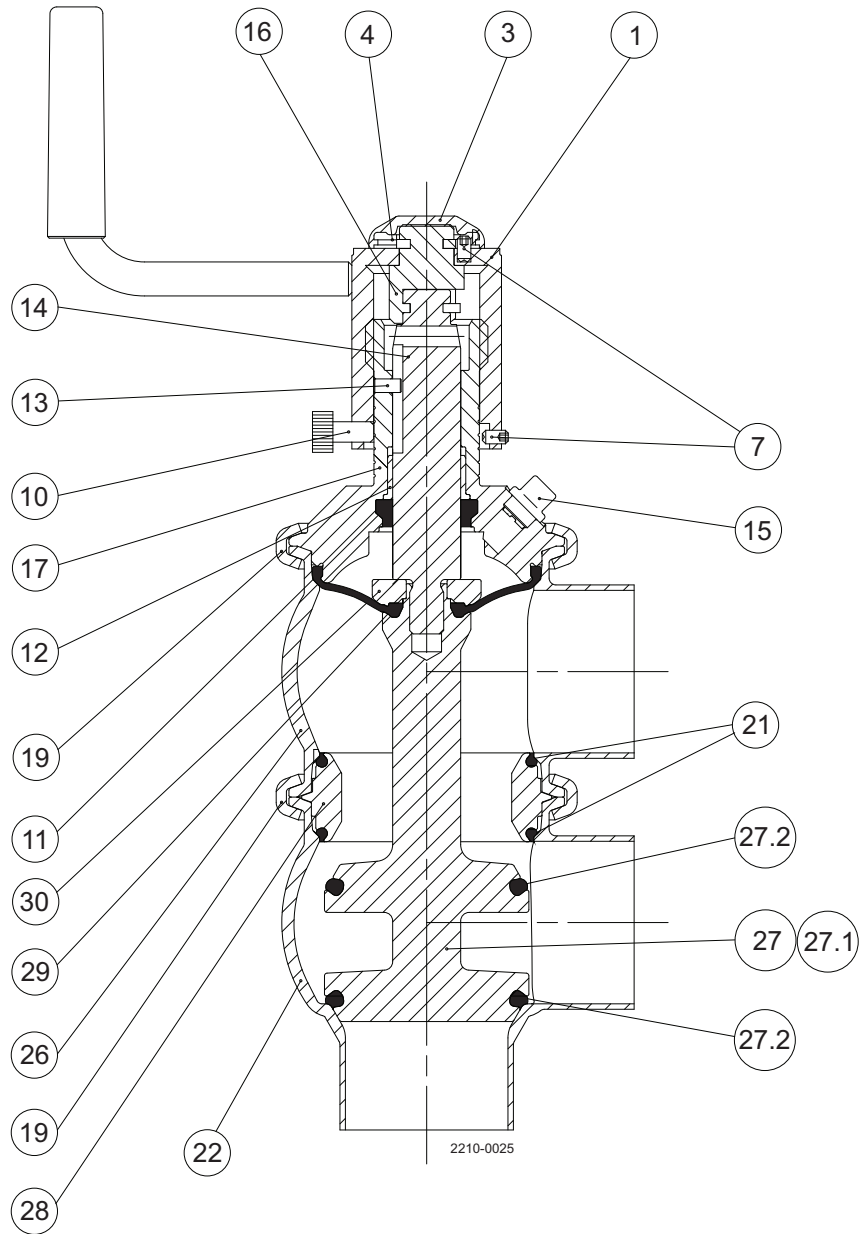
サービス・キット

部品名称		DN25 25 mm	DN40 38 mm	DN50 51 mm	DN65 63.5 mm	DN80 76.1 mm	DN100 101.6 mm
規格							
◆	サービスキット、EPDM	9611926543	9611926544	9611926545	9611926546	9611926547	9611926548
◆	サービスキット、HNBR	9611926549	9611926550	9611926551	9611926552	9611926553	9611926554
◆	サービスキット、FPM	9611926555	9611926556	9611926557	9611926558	9611926559	9611926560
接線のみ							
◆	サービスキット、EPDM	9611926909	9611926910	9611926911	9611926912	9611926913	9611926914
◆	サービスキット、HNBR	9611926915	9611926916	9611926917	9611926918	9611926919	9611926920
◆	サービスキット、FPM	9611926921	9611926922	9611926923	9611926924	9611926925	9611926926

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

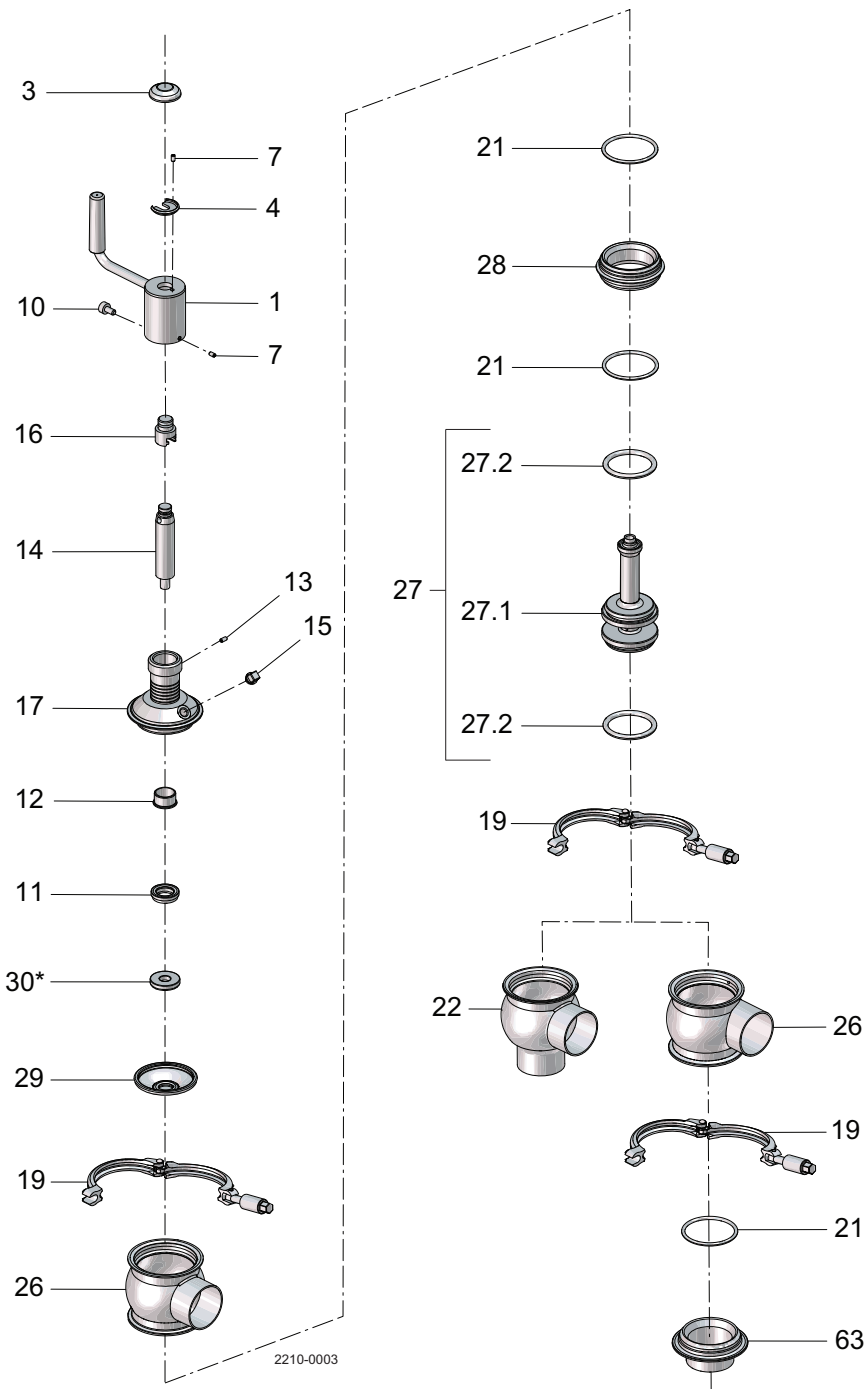
7.5 手動殺菌 - 切り替え - 断面図



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

7.6 手動殺菌 - 切り替え



* = DN25/25 mm and DN40/38 mm にはディスクを使用しないでください

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

パーツリスト

符号	数量	部品名称
		クランク機構一式
1	1	クランク
3	1	キャップ
4	1	ワッシャー
7	2	セットねじ
10	1	ロックネジ
11	1	リップ・シール
12	1	ブッシング
13	1	スプリングピン
14	1	上側スピンドル
15	1	プラグ
16	1	ステム延長部
17	1	シーリングエレメント
19	2	クランプ
21 ◆	2	Oリング
22 ◆	1	バルブボディ
26	1	バルブボディ
27	1	プラグ、一式
27.1	1	プラグ
27.2 ◆	2	プラグシール
28	1	シート
29 ◆	1	ダイヤフラム
30	1	ダイヤフラム用ディスク
63	1	ポートシールエレメント

サービス・キット

部品名称	DN25	DN40	DN50	DN65	DN80	DN100
	25 mm	38 mm	51 mm	63.5 mm	76.1 mm	101.6 mm
◆ サービスキット、EPDM	9611926615	9611926616	9611926617	9611926618	9611926619	9611926620
◆ サービスキット、HNBR	9611926621	9611926622	9611926623	9611926624	9611926625	9611926626
◆ サービスキット、FPM	9611926627	9611926628	9611926629	9611926630	9611926631	9611926632

接続のみ

◆ サービスキット、EPDM	9611926927	9611926928	9611926929	9611926930	9611926931	9611926932
◆ サービスキット、HNBR	9611926933	9611926934	9611926935	9611926936	9611926937	9611926938
◆ サービスキット、FPM	9611926939	9611926940	9611926941	9611926942	9611926943	9611926944

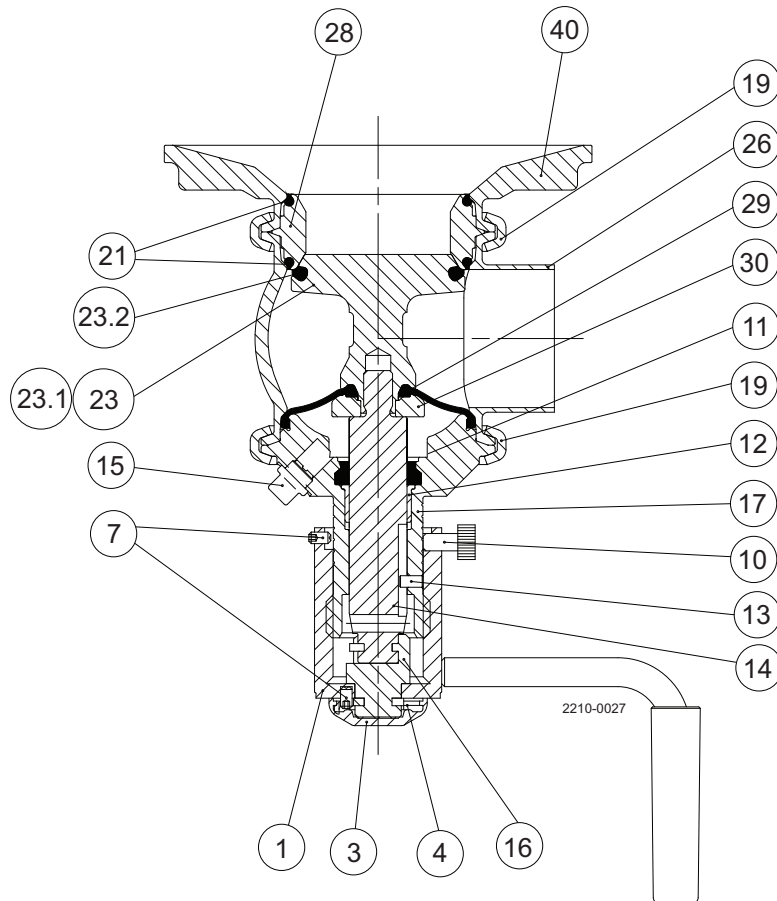
「◆」印の付いた部品はサービスキット(製品溶接部品)に含まれています。
ブッシング用ツール(位置 12) 9613160901

TD900-654

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

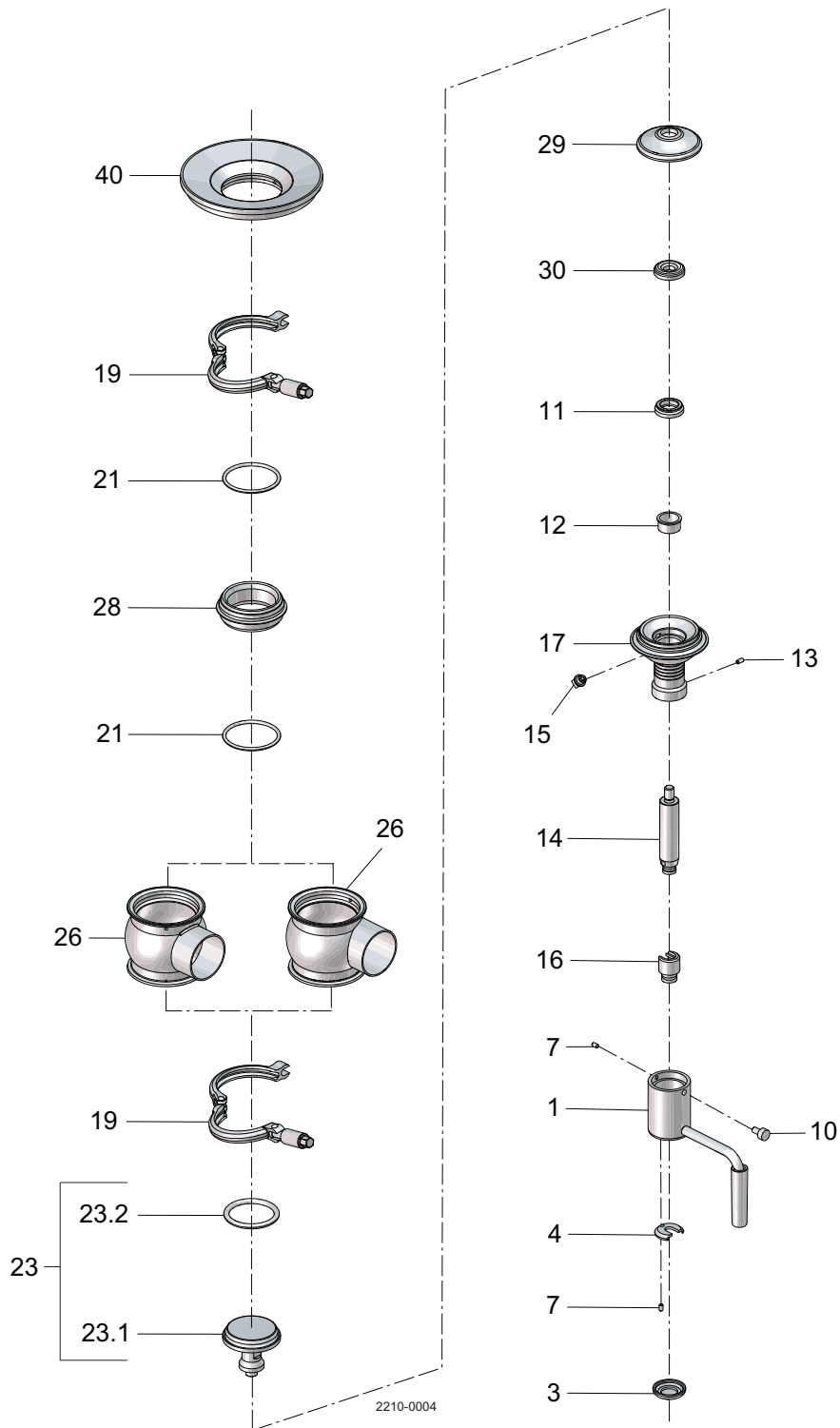
7.7 手動殺菌タンク出口 - 断面図



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

7.8 手動殺菌タンク出口



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

パーツリスト

符号	数量	部品名称
		クランク機構一式
1	1	クランク
3	1	キャップ
4	1	ワッシャー
7	2	セットねじ
10	1	ロックングネジ
11	1	リップ・シール
12	1	ブッシング
13	1	スプリングピン
14	1	上側スピンドル
15	1	プラグ
16	1	ステム延長部
17	1	シーリングエレメント
19	1	クランプ
21 ◆	2	Oリング
23	1	プラグ、一式
23.1	1	プラグ
23.2 ◆	1	プラグシール
26	1	バルブボディ
28	1	シート
29 ◆	1	ダイヤフラム
30	1	ダイヤフラム用ディスク
40	1	タンク・フランジ

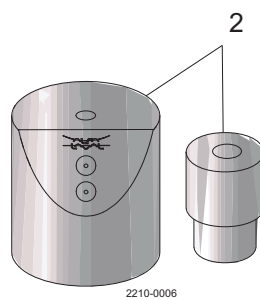
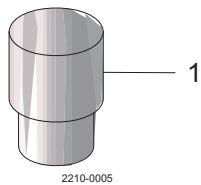
サービス・キット

部品名称	DN50	DN65	DN80	DN100
	51 mm	63.5 mm	76.1 mm	101.6 mm
◆ サービスキット、EPDM	9611926945	9611926946	9611926947	9611926948
◆ サービスキット、HNBR	9611926949	9611926950	9611926951	9611926952
◆ サービスキット、FPM	9611926953	9611926954	9611926955	9611926946

7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

7.9 付属品ツール



7 部品リストとサービスキット

据付け、操作、メンテナンスの際は、必ずテクニカルデータをご覧ください。
このデータは全担当者にご通知ください。

パーツリスト

符号	数量	部品名称
1	1	プッシング用ツール(位置 24)
2	1	エラストマー プラグシール用取り 付けツール

アルファ・ラバルの問い合わせ先

各国の弊社代理店の最新情報は、ホームページをご確認ください。

© Alfa Laval Corporate AB

本文書および本文書の内容はAlfa Laval Corporate ABが所有し、知的所有権およびそれに関連する権利を管理する法律によって保護されています。本文書のユーザーは、適用される知的所有権関連法に準拠する責任を負います。本文書に関連するすべての権利を制限することなく、本文書のいかなる文書も、Alfa Laval Corporate ABから文書による許諾を得ることなく、いかなる形式またはいかなる手段（電子、機械的、複写、録画その他）、いかなる目的によっても無断で、コピー、複製または転送してはなりません。Alfa Laval Corporate ABは法の許す限り、刑事告発を含めた、本文書に関する権利を行使します。